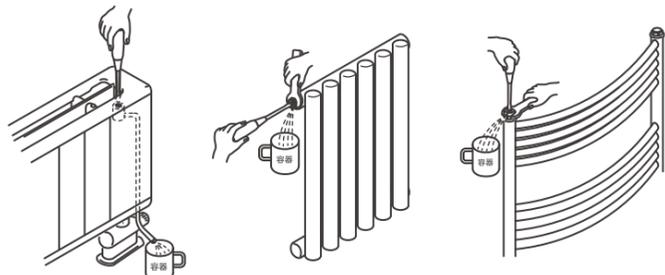


⚠ この作業は工事業者様作業です。お客様が行うとケガ、やけど、動作不良を生じる可能性があります。

1. 暖房用ボイラーを運転状態にして、空気抜きを行うパラウォームのサーモヘッドを反時計方向に回して全開状態にします。
2. 空気抜き弁に布を被せるか、または容器で受けてから、空気抜き弁の溝部をドライバーでゆっくり緩めて、空気を抜いてください。
3. 空気が抜けて温水が連続して出ましたら、空気抜き弁の溝部をドライバーでしっかり閉めてください。



※ 機種によって空気抜き弁の位置や向きが異なります。

※ 空気抜き弁の溝部を緩める際、空気抜き弁をスパナでおさえ、ゆっくり開けるようにしてください。

⚠ 空気抜き弁より熱湯が吹き出すことがありますので、やけどには十分注意してください。

⚠ 空気を抜くことによりシステム圧力の低下、または循環水水位低下により動作不良を生じる可能性があります。

このたびはパラウォームをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。

保証書には必ずお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめください。

この取扱説明書（保証書付）は大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、次のような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を良く理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

<b>⚠ 警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>⚠ 注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性、及び物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。
<b>お願い</b>	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

無料修理保証書

本品は、本書記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。  
お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理を依頼ください。

型 式 名		保証期間	お買い上げ日より 3年
保 証 対 象	器具本体	お買い上げ日	年 月 日
お 客 様	お名前	販売店名	TEL ( )
	ご住所		
	電話		

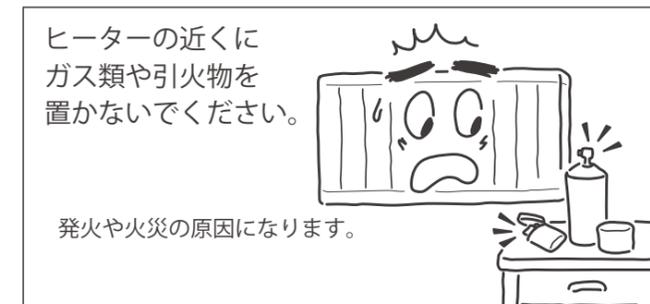
無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店が無料修理します。
  2. 有効期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
  3. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
  4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
    - ①ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
    - ②お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
    - ③火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
    - ④指定外の不凍液、燃料、不純燃料の使用による故障及び損傷。
    - ⑤一般家庭以外（例えば車両・船舶への搭載・業務用）に使用された場合の故障及び損傷。
    - ⑥本書の提示がない場合。
    - ⑦本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、或いは字句を書き換えられた場合。
  5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
  6. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- ※1 この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社にお問合せください。
- ※2 保証期間経過後の修理と補修用品の保有期間については、製造中止後 10 年を基準に補修用品を調達したうえ、修理によって性能が維持できる場合は有料で修理を承ります。

お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社はおお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前、ご住所、電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他の正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

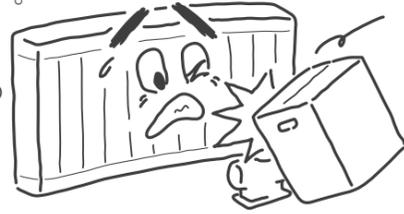
⚠ 警告



## ⚠ 注意

パネルヒーターを持ち上げたり、衝撃を与えたりしないでください。

ケガや機器の破損の原因になります。



パネルヒーターに物を乗せたり掛けたりしないでください。

機器の破損や能力低下の原因になります。  
また、洗濯物や色移りのしやすいものを置いたりすると、腐食や変色の原因になります。



## お願い

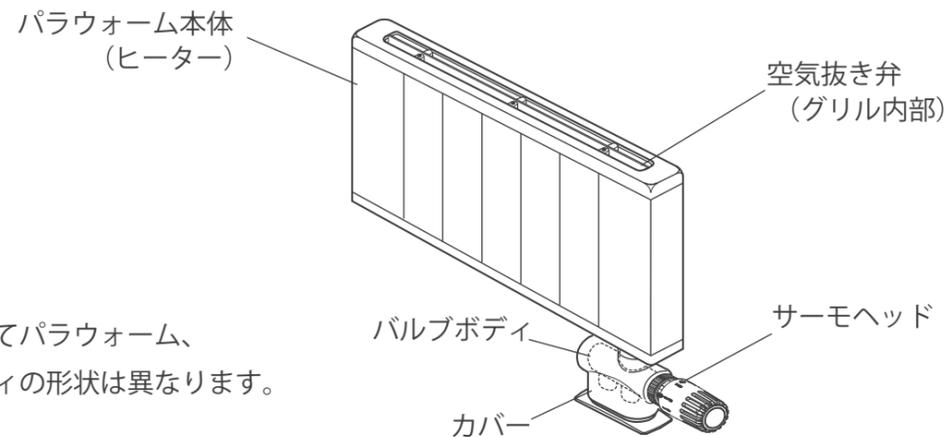
サーモヘッドの周囲に物を置いたり、カーテンなどで覆ったりしないでください。温度制御が正確にできません。



循環水（不凍液）は3年に1回を目安に交換してください。

交換しない場合、凍結防止効果、防錆効果がなくなり機器が破損することがあります。

## 各部の名前

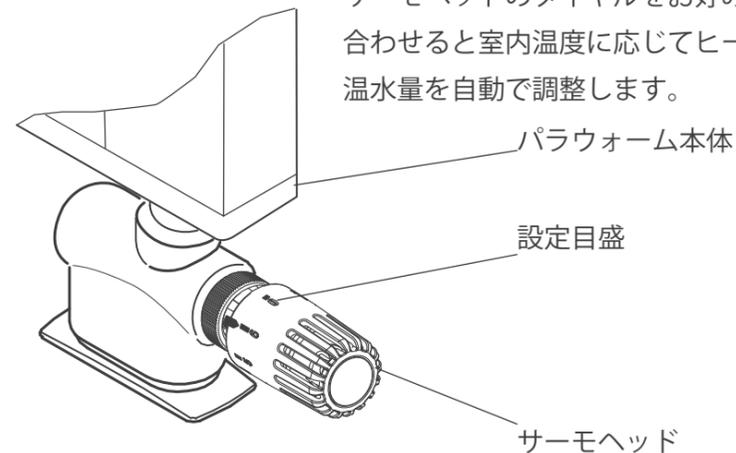


※機種によってパラウォーム、バルブボディの形状は異なります。

## 使用方法

サーモヘッドのダイヤルをお好みの室温（目安）に合わせて室内温度に応じてヒーターに流れる温水量を自動で調整します。

設定目盛	室温（目安）
0	1℃
1	11℃
2	15℃
3	20℃
4	23℃
5	26℃
6	29℃



## 通常のご使用时

一度温度設定をすると、設定した温度に応じて自動で調整しますので、設定温度を変更する以外、サーモヘッドに触れる必要はありません。  
※設定目盛の室温は目安です。周囲の環境などにより設定温度と室温に誤差が生じることがあります。

## 長期間留守にする場合など

設定目盛を「1」に設定しておきますと、室内温度が11℃以下にならないように自動で調整しますので、居室内の設備などの凍結防止のため、冬季に長期間留守にする場合などは設定目盛を「1」にすることを勧めます。

## 暖房のシーズンオフになったら

ボイラーなどの熱源機を停止させ、設定目盛を「6」にすることを勧めます。  
バルブ内部の固着などの故障を予防できます。

⚠ パネルヒーターが温まると、金属の膨張・収縮により音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

## お手入れ方法

### 日常のお手入れ

パネルヒーターのお手入れは柔らかい布でからぶきしてください。  
汚れのひどいときは、柔らかい布をぬるま湯にひたし、よく絞ってからふいてください。  
シンナーなどの化学薬品、化学ぞうきん、みがき粉、洗剤などをご使用になると変形、破損、変色することがあります。

### 点検

パネルヒーター、バルブなどから不凍液が漏れていないか点検してください。  
不凍液が漏れている場合は、販売店または施工店へ修理を依頼してください。

## 故障の見分け方と処置方法

状態	主な原因	対処
パネルヒーター全体が冷たい	熱源機（ボイラーなど）が停止している	熱源機（ボイラーなど）を運転する
	バルブが閉じている	バルブを開放する
	パネルヒーターに空気が溜まっている	お買い上げの販売店又は工事店に修理依頼してください
	配管にゴミが詰まっている	
パネルヒーターが部分的に冷たい	熱源機（ボイラーなど）が故障している	お買い上げの販売店又は工事店に修理依頼してください
	パネルヒーターに空気が溜まっている	
パネルヒーター下部が冷たい	配管接続（温水入口、出口）が逆になっている	お買い上げの販売店又は工事店に修理依頼してください
	温水流量が不足している	
パネルヒーターから音が発生する	配管にゴミが詰まっている	故障ではありません
	パネルヒーターに空気が溜まっている	
	ポンプが出力過大で流水音がる	
	ポンプ側からの振動が伝わる	
	配管接続（温水入口、出口）が逆になっている	
	温水の熱によるヒーターの膨張・収縮音	